

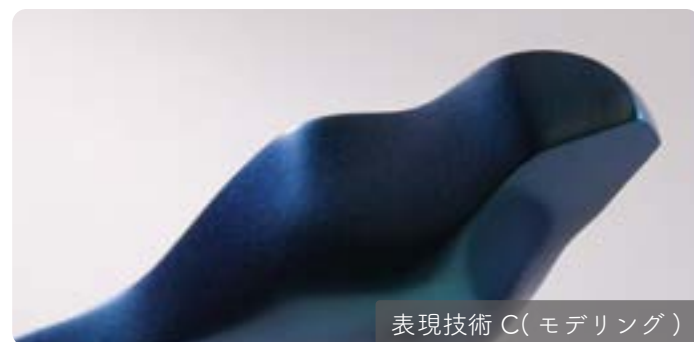
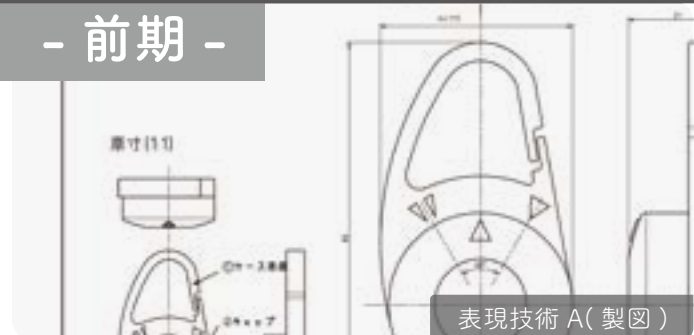
2025

How to walk PDI



- 目次 -

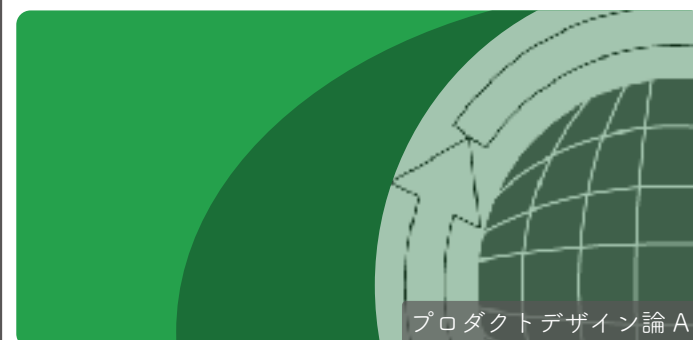
- 前期 -



- チュートリアル -



- 後期 -



- 年間予定表 -

	月	火	(水)	木	(金)	土
4月						
5月	自習 サポート	表現技術 A (製図)	チュートリアル A-B	表現技術 B (初級スケッチ)		表現技術 C (モデリング)
6月			チュートリアル C-D			
7月		プロダクト デザイン B		表現技術 D		表現技術 D
8月	夏季休業					
後期授業開始		(機能と身体)		(上級スケッチ)		(上級スケッチ)
9月			チュートリアル E-F			
10月	文化祭週間					
11月	自習 サポート	プロダクト デザイン論 A		プロダクト デザイン C (機能と 使用環境)		プロダクト デザイン A (機能と道具)
12月	冬季休業					
1月			表現技術 E	表現技術 E		表現技術 E
2月	春季休業					
3月						

PD の道具紹介 & 展示場所紹介

- ・ノートパソコン
- ・3D プリンター
- ・おすすめの展示場所
- ・ソフトウェア
- ・その他オススの道具紹介



表現技術A 「製図」

ボリューム感 ★★★★★

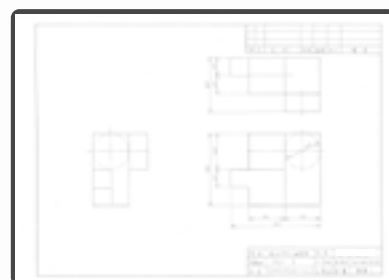
山口 昌平 先生

製図は、みなさんのデザインを図形と数値に落とし込むことで深く検討し、一緒にものづくりをする人と共有できる強力なスキルです。地味な授業かもしれませんが、ぜひ皆さんの力になるように一緒に学んでいきましょう。

FLOW 授業の流れ

01

ルールを学ぶ



ルールを学びながら
手書きで製図する

02

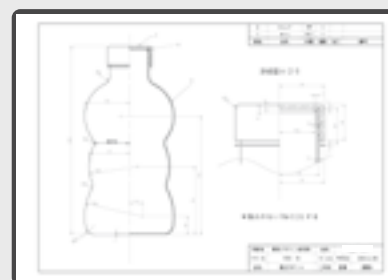
CADを学ぶ



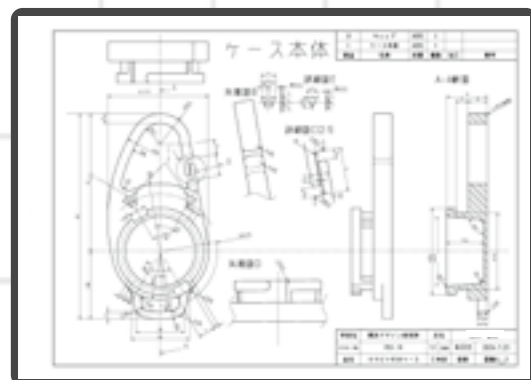
手書きした図面を CAD
を使用して描く

03

実践



課題を通して CAD の使
い方、製図に慣れる



授業内容を網羅した見本図面を
トレースできるようになるぞ！

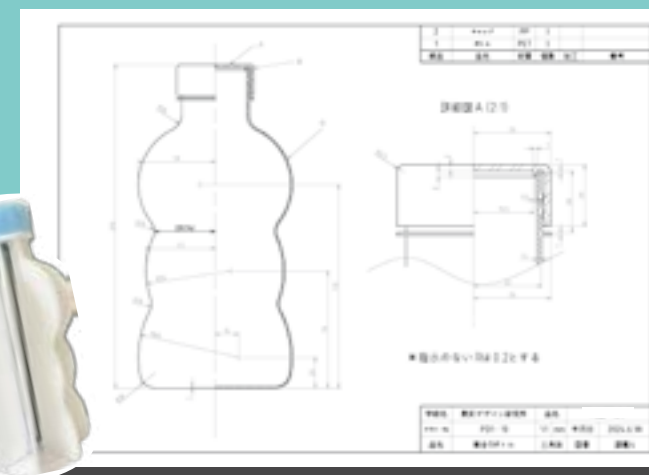
結構達成感あるよ！

ASSIGNMENTS 課題例

平面 ▶ 立体

「ボトルデザイン」

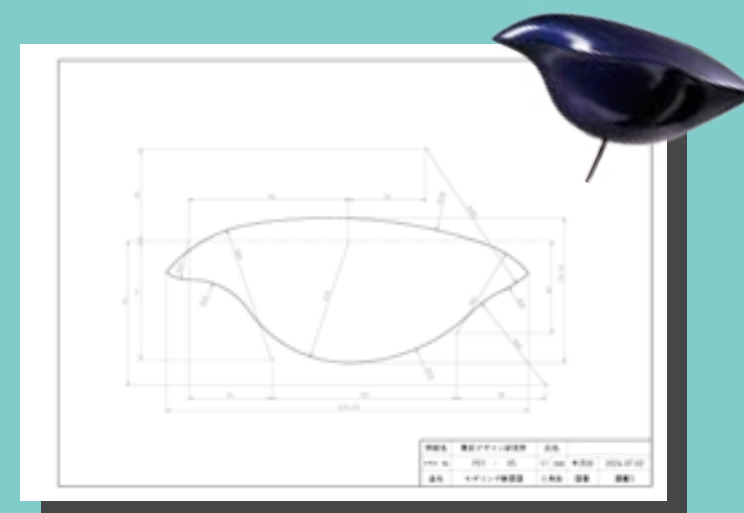
ボトルの図面を作成します。
図面を元にモデルを作成することで、
平面と立体の感覚の差を学べます。
立体は想像より大きくなりがち…。



立体 ▶ 平面

「モデリング図面化」

モデリングの授業で作成したモデルを
図面に起こします。思った通りの形を
数値で表現するのは難しいですが、描
けた際の達成感が魅力の課題です。



COMMENT 編集者のコメント

製図のスキルを身につけ、製作者に正しく伝えられれば、デザイナーのこだわりが余す事なく製品に反映されると思いますので、私自身もっと精進したい内容です。後々の課題にも必要になるので、ちゃんと学んでおいて損はないです！先生はとても優しく、前向きに色々教えてくださいますよ～。

見てくれてありがとう！一緒に頑張りましょう～





表現技術 C（モデリング）

ボリューム感 ★★★★★

渕野健太郎

先生からのコメント

私が担当するモデリングの授業では、スケッチワークからモデル作成までを体験してもらいます。

その課題を通じてプロダクトデザインに必須な「面と線」の理解のほか「美しさ」の追求、さらには造形を「言語化」して説明できる能力も養います。手作業が多いので、ものづくりに没頭できますよ。

課題のテーマは「動きのあるもの」。



テーマを検討、スケッチからモデル制作へ



サフォームカッターで形を削り、やすりがけをした後、スプレーで塗装をします。工作室の先生にも相談しながら作業を進めます。



モデルが完成した後は、撮影とプレゼンを行います。

担当編集からのコメント

この授業は、「桑沢」で行う初めての作品制作でした。具体的なテーマを抽象的な形に落とし込むのはなかなか難しいですが、先生は優しくアドバイスをしてくれます。

この授業で身につけた技術は、中期以降のデザイン科目でモックアップ制作を行う際に非常に役立ちます。



PD_B 機能と身体 (ハンドツール)

ボリューム感 ★★★★★

実は超甘党

TADA

KENTA

多田 健太 先生

01 先生からのコメント

ハンドツールはアイデア発想からモデルによる具体化までを一貫して行う授業です。実際にユーザーリサーチをしてデザインに落とし込むところまでをスピード感を持って経験できる授業となっております。自身にスキルアップに大きく繋がりますのでデザインすることを楽しみましょう。

02 授業の様子

Step 1 よく調べる

どんなキッチンツールがあるのか、特徴や工夫されている点などを観察する。



立つしゃもじ



よく安定する小鉢



カニの皮むき専用
ピーラー

ネットで調べるだけでなく、実際に雑貨屋や合羽橋に足を運んで知らない商品にたくさん巡り会えるよ！

Step 2 案を出して方向性を決める

方向性が決まったら、形状の検討をさらに深めていく。



Step 3 モック（試作品）をつくっていく

サイズやフィット感、求めていた効果を得られそうかを確認する。



モックを作るときに必要な材料は知らない材料でも先生がアドバイスをくれるので安心して大丈夫です！

Step 4 モック（提出用）をしあげていく

本物のように仕上がるよう、素材や塗装にもこだわって丁寧に作業する。



Step 5 プレゼン資料を作成して発表

フィードバックをおこないます。



03 製作について

手作業で完成させる人もいれば、3Dプリンターで出力して塗装する人もいます。学校で3Dソフトで設計したり出力することもあるので、PCはノートパソコンが良いのではないかと思います。

02 編集担当者よりコメント

随時先生やクラスメイトにコメントを求めてPDCAサイクルを多く回すことで完成度が高まっていきます。先生は一見クールですが、超甘党でお茶目な一面をおもちなので、話しかけるのに勇気がいるときはチョコレートを持参すると良いと思います。毎時間個人相談があるので、出席していれば課題はちゃんと終わるはずですよ。

表現技術 B「初級スケッチ」・D「上級スケッチ」 ボリューム感 ★★★★★



芝田寧生 先生

● 授業についてコメント

スケッチの授業を担当する芝田です。スケッチはプロダクトデザイナーにとって言語と同じです。自分の頭の中のイメージを第三者に伝えてくれます。この授業を通じて自分のスケッチのスタイルを確立していきましょう！

● 学生が使うパソコンの理想のスペックは？

フォトショップ・イラストレーター・FUSION が普通に動く程度で良いと思います。ノートなら 15 インチ以上、大きいほうが作業が捗ります。

● 学生へひとこと！

自分は、どんなデザインが好きなのか？考えたことはありますか？じっくり考えてみてください。

○初級スケッチ [4 月～7 月 1 年前期]

はじめは鉛筆や色鉛筆、マーカーで基本立体・応用立体を描く練習をし、物体のパース取りや陰影について理解していきます。応用として実際のプロダクト（トースター、ドライヤー）の3面スケッチやクォータービューを描き、最終的には自分でデザインしたものをスケッチします。



○上級スケッチ [7 月～9 月 1 年後期]

初級スケッチの授業で基礎的なスキルを身につけた後、PC・ペンタブレットを用いたスケッチ方法を学びます。画像編集ソフトの操作方法を覚えることから始まり、模写などの練習を経て最終的に自分が考えたデザインをデジタルでスケッチします。ソフトを使った経験がない人でも、丁寧な指導によって確実に使いこなすことができるようになります。



● 編集担当からのメッセージ

とにかく描いて描いて描く授業です。課題をこなしていくことでスケッチが上達することはもちろんですが、プロダクトデザイナーとしてデザインする上で守るべき要件や多くの人に訴求する形を学ぶことができます。授業を通してデザインについて考える機会が増えることで、普段の生活で気にならなかったものにも目を向けるようになり、観察力も身についていくと思います。

スケッチを描いた経験がなくても、真面目に取り組めば必ず第三者に魅力が伝わるように描くことができるようになるので、まずは楽しんで描いてみてください！



機能と使用環境

【手に持てる、風を起こす家電製品】

ボリューム感 ★★★★★

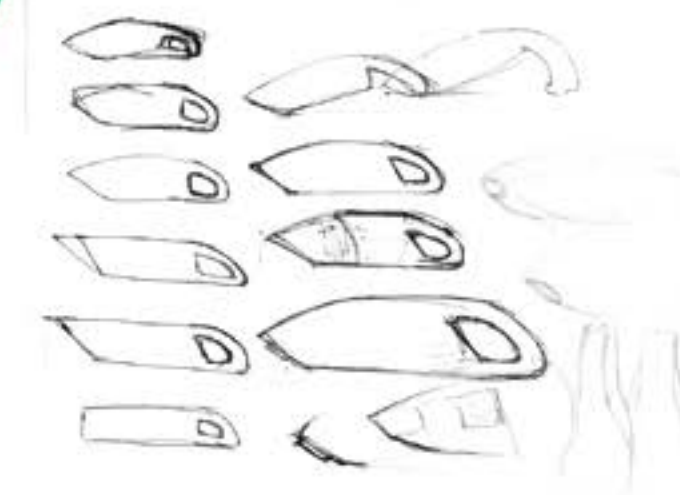
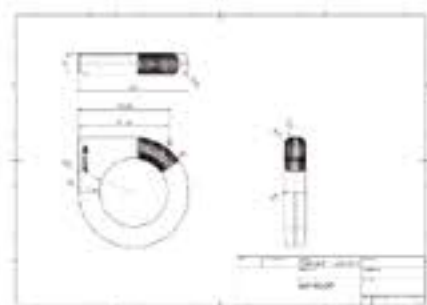
山口昌平先生

授業内容

本授業では、「手に持てる、風をおこす家電製品」をテーマに、
デザイン・提案・設計・モック作成・プレゼンの流れを実践。
機構・製造・使用条件を考慮し、実現可能なデザインを追求します。

考えを形にする力を身につけられます。

ラフスケッチ・図面・3Dモデル・ラフモデル



編集担当からのコメント

この授業は、後期の授業ということもあり、これまで学んだことをすべて活かす内容になっています。

課題のボリュームも多く、人それぞれのペースも違うため難しさを感じることもあるかもしれません。

ですが、クラスみんなが1からデザインした作品を見たり、自分の作品を見せたりできる、刺激的で面白い授業でもあります。

ぜひ楽しんで取り組んでください！



PD A 機能と道具（テープカッター）

ボリューム感 ★★★★★☆

喜屋武 タケル 先生



「先生からのコメント」

プロダクトデザインでは「コンセプトを考えてからデザインする」というプロセスが基本ですが、この授業ではあえて「形から探る」というアプローチを大切にします。

バランスやシルエット、ボリューム感など、まずは形の面白さを追求してみましょう！

最後の授業は制作プロセスも含めた発表！



常識にとらわれない形を試行錯誤します！



「編集担当からのコメント」

当初は「テープカッターのデザインなんて出尽くしてるんじゃないか」などと思っていましたが、クラスでも本当に多種多様な形が生まれていました。

プロダクトデザインのモックアップは見た目だけのことが多いですが、テープカッターの場合、実際に使えるものを簡単に作れるので、作ったものを自分で使うことができ嬉しいです（笑）

プロダクトデザイン論 A

ボリューム感 ★★★★★

本田 圭吾 先生

独特なファッションセンスをお持ちの先生。
授業の際に着ている服はどれもお洒落。

「先生からのコメント」

授業課題に最優先で取り組むのはもちろん、学生としての立場を十分に活用してほしいですね。クラスメイトだけでなく教員や他専攻学年など全方位交流が今後の宝になります。ちなみに私自身は専任教員職以外で、デザイン業務の受託、開発型経営コンサルティング、エコデザイン・サステナブルデザインの講義や講演をしています。全て全方位交流がきっかけです。

・授業概要（授業の目的）

プロダクトデザインを主語とし、人間の生活(営み)と社会への恩恵と影響を考える。

・授業趣旨（達成目標）

人間の生活(営み)と社会におけるプロダクトデザインがもたらす恩恵と影響を説明できる。

・授業内容

プロダクトデザインを中心にデザインの基礎や基本理念、デザイン思考に加え、第一次工業革命から近世代に至るまでの世界と日本のデザイン史を学ぶ。他にもこの講義を通して、これからのデザインとはどんなものになるのかを考える。



レポートで気になったプロダクトを紹介

プロダクトデザイン論 課題5	番号	氏名	締切日	出題日
素材活用と用途開発 400文字 素材の特性や特徴がそのままデザインの特徴になっているプロダクト 通常とは異なる素材の使い方・加工方法などで特徴となっているプロダクトなどの事例を紹介していただき、 事例の画像を、正式名称・メーカーやデザイナーなどの情報とともに添付すること				
 私が今回紹介するのは、合成繊維を主とする染色加工の総合メーカー・緑セン株式会社と、大阪出身のプロダクトデザイナーである小池和也氏が共同して考案、デザインした染色ツキ板を使用した家具である。decrease seriesです。 ツキ板とは天然木を0.2mm-0.6mmの厚さにスライスした板。漂白して染色したもので、塗目にも影響されるため同じ模様のもは二つとしてなく、天然木ならではの味わいや近感性を楽しむことができる。また、色ムラがなく、木目が鮮明に残るのが特徴である。 このdecrease series は同じ木目のツキ板を短冊状に切り離した後に少しずつ色が異なる染料で染めた後、再度一枚のツキ板に貼り合わせ、同じ木目でありながら徐々に色が変化するツキ板を制作し、これに合うようにフラットにデザインした家具に貼り付けることで、独特の木目と鮮やかなグラデーションが平面にも立体にも見えるデザインの家具に仕上げたものである。 名称 : decrease series メーカー : 緑セン株式会社 デザイナー : 小池和也				

毎講義ごとに課される課題は**次回の予習**にもなっていて、授業の終わりに発表するので、他の授業で培った**プレゼン能力を発揮する場**にもなっている。

「編集担当者からのコメント」



この講義は毎講義ごとにレポート課題が出るので、それらをこなしていくことで自分なりに「**デザインとは何か**」を考えるようになり、以前より具体的に理解出来るようになったと感じました。また、デザイン史やそれに伴うデザイン思考の変化も学ぶことができるので、デザインに対しての考え方や視野を広めるには絶好の機会だと思います。ですので、精力的に取り組んでみてはどうでしょうか？



表現技術E（ポートフォリオ）

下村 航先生

ボリューム感 ★★★★★

先生からのコメント！

私の授業ではポートフォリオを作成します。私は仕事でデザイナーの転職紹介をしており、何百人ものプロのデザイナーのポートフォリオを見て、アドバイスをしてきました。また、その経験から幅広いデザイン職を知っているので、デザインやデザイン業界の話もします。

ポートフォリオとは・・・？

ポートフォリオはこれまでデザインしてきた作品を写真や文字で説明する資料で、デザイナーの場合、就職活動では書類審査は履歴書とポートフォリオで判断されます。

Point ①

先輩のポートフォリオから学ぶ

過去に先輩が作ったものをみて、それぞれの良いところを探します。業界や職種によってポートフォリオの形も様々。まずは調べてみましょう。



画像は JobJob より引用

Point ②

イラレ・フォトショの使い方を学ぶ

基本的な操作に加えてポートフォリオ作りに便利な機能も一緒におぼえましょう！
PNG 画像と JPG 画像の使い分けなど、ポートフォリオの容量を決める要因になります。しっかり理解すると快適に作れます。



Adobe 公式サイトより引用

Point ③

写真撮影の方法を学ぶ

カメラの正しい設定方法は知っていますか？
物撮りするときネイルしたまま撮ってませんか？
ポートフォリオの授業ではプロのカメラマンを講師に招いて写真撮影講座を行います。
カメラの扱い方だけでなく機材のセッティングの仕方や構図など実践を通して学びます。



編集担当者からのコメント

1 年次の最後にある授業ということで、少しモチベーションが落ちがちのところは否めないのだが、下村先生のデザイン業界トークは役立つ内容が多かったです。

可能な限り出席しましょう！

下村先生の note も CHECK! →





チュートリアル A-B

ボリューム感 ★★★★★☆

※授業は基本オンラインかオンデマンドです

喜屋武 タケル 先生

桑沢の波乗りリンチュ

サーフィンが趣味だそうで、休日には波に乗るために海原へと繰り出すが、家族との遊びも忘れない素敵な方です。

参照：デザイン情報サイト「JDN」

パースの基本について学ぶ



一点透視図



二点透視図



三点透視図

01. スケッチの基礎的要素を習得



STEP1

まずは円柱と、複数の立方体が融合したものをスケッチ

STEP2

その次に C 面や角 R をつけた立方体、曲面で構成された立体、最後にスカulptチャーをスケッチして基礎のスケッチは終了。



02. デジタルカメラをデザイン



基礎を踏まえ、ペルソナとコンセプトを設定して実際にデジタルカメラをデザイン

03. デジカメのプレゼンボードを作成



プレゼンボード作成のコツやペルソナを設定する際の留意点などを踏まえてアナログ or デジタルで実際に作成

「編集担当者からのコメント」



桑沢入学前にあまりスケッチの基本に触れる機会がなかったり、そもそもスケッチをしたことがなくても、このチュートリアルをこなすことで、デザインする際に気をつけるべきポイントや、プロダクトデザインにおけるスケッチの基礎、スケッチの魅せ方や重要性など、スケッチに関することを一通り学ぶことができるので、スケッチしたことなくても安心してください！



ラピッドモデリング

チュートリアル C-D

オンライン授業

ボリューム感 ★★★★★

多田 健太 先生

特定の条件下でプロダクトを作成し、デザインによって問題へのアプローチをする。

使用するもの
ケント紙 / 普通紙 / のり
両面テープ / セロハンテープ

CASE1 「守るカタチ」をデザインする



たまごを守るか、実際に高いところから落としてみる



CASE2 「耐える」カタチ」をデザインする



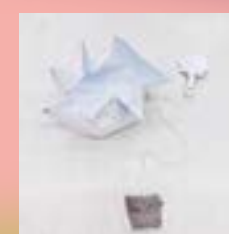
シャツ・コートに耐えることができるか掛けてみる



CASE3 「使いやすいカタチ」をデザインする = ティーパック編 =



「使いやすいか」「使い方がわかるか」説明無しに試す



CASE4 「使いやすいカタチ」をデザインする = 絆創膏編 =



「使いやすいか」「使い方がわかるか」説明無しに試す



編集担当者
コメント

「実際に作ってみることでわかることがたくさんあるなあ」と実感しました。また、デザイナーの意図が使用者に伝わるデザインかというところも体験を持ってわかるとてもおもしろい授業でした。自分以外に試してもらえるので、検証会へ参加することをオススメします！



チュートリアルE-F

サステナブルデザイン論

ボリューム感 ★★★

本田 圭吾 先生

サステナブルって何？

Sustainable : 持続可能

持続可能な社会の実現のため、人類共通の目標として掲げられる SDGs。

本授業ではデザインの観点からサステナブル社会へ向けてできること、を考え、学びます。



▶▶ 聞いたことがあるかも・・・？

エコデザイン

アース・オーバーシュート

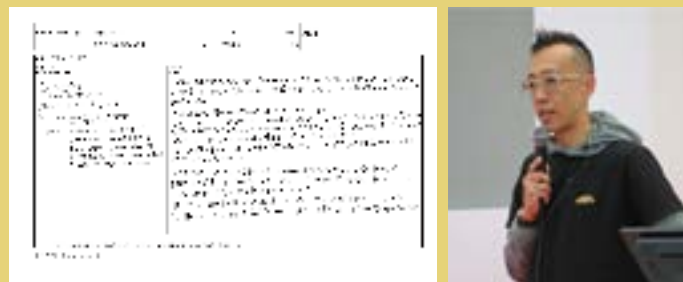
Factor4

4R

授業スタイル

classroom に配信される動画を見てレポートを提出します。

授業内容をメモしたり、思ったり考えたりしたことを書き留めましょう。



編集者コメント

プロダクトデザインは、量産を見込んでデザインすることが多く、資源の使用方法に干渉しやすい立場だと思しますので、学んでおくと選択肢が広がるのかなと思います。改めて、自分に何ができるのかを考える機会になります。



指導時間（自由参加！自習サポート）

青木 望先生・藤田 咲恵先生

困った時の質問場所！オンラインでも利用可能。

桑沢卒業生でもあるお二人がみなさんの相談にのってくれます。

内容は課題のことや自主制作のこと、キャリアや人生相談と幅広く相談できますよ。

Q. 自習サポートを利用したことがありますか？
(2024 年度 PD1 へのアンケートより)

はい・・・25% (4人)

いいえ・・・75% (12人)

学校行くのめんどい人に朗報です◎

自宅から参加できます！

(↑知らない人が多いから強調してと言われた)

オンライン：

Classroom 内の「Meet」より参加

対面

本校舎 5F ゼミ室奥「PD 工房」(3D プリンタがあるところ)



編集担当者からのコメント

授業担当の先生以外のデザイナーから意見を聞ける貴重な機会でもあります。私はこの自習サポートがきっかけで先輩と知り合いになって、制作の相談に乗ってもらったり、材料を分けてもらったりしました～

いつも結構空いてる印象があるので、先生を給料分働かせましょう笑。

ちなみに青木先生は山口先生の同級生なので、貴重なお話が聞けるかも ...?

パソコン

重要度：★★★★★

使う授業：ほぼ全部

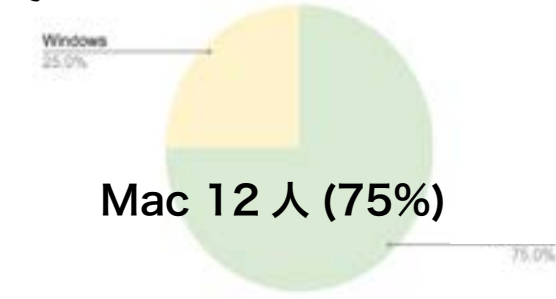


授業の最後に提出する“作品ファイル”の作成やレポート課題に3Dモデルの作成などとにかく使う。Macが人気だが、**プロダクトデザイナー志望者はまずWindowsを検討しよう！**
安価で手に入れやすい上3DソフトなどはWindows基準で作られていることも多い。Apple社以外の会社はほぼWindows PCを製造しているためMacに比べてバリエーションも豊富。アドオンなどもWindowsだと入れやすい。だがAirDropが使えないなど不便な点もあるので要検討の上で選ぼう。1台持ちならノートPCがおすすめ。

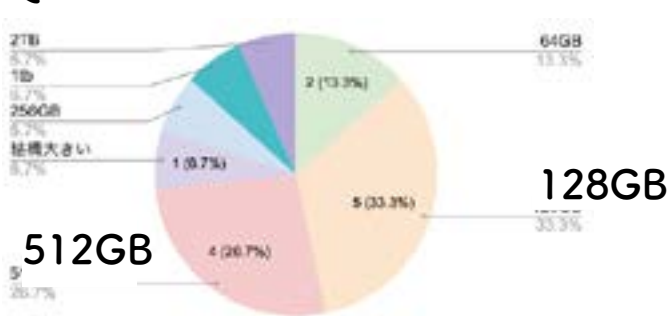
Q. ノート PC を持っていますか？ (2024 年度 PD1 の集計)



Q. OS は何ですか？ (2024 年度 PD1 の集計)



Q.PC の容量はどのくらいですか？



<https://www.apple.com/jp/mac/gakusei/> より引用



<https://www.microsoft.com/ja-jp/surface/devices/surface-pro-11th-edition> より引用

先生の意見

「私の MacBook Air は、メモリを 24GB の一番高いものにしています。これでフォトショやイラレは全く問題無く、Blender などの 3D も複雑なものでなければ快適に動いています。3D や長編動画編集などをメインにするには MacBookPro の方が良いのかもですが、2D が主体、たまに 3D や動画編集の私は今のスペックで満足しています。」(淵野先生)

フォトショップ・イラストレーター・FUSION が普通に動く程度で良いと思います。
ノートなら 15 インチ以上、大きいほうが作業が捗ります。(芝田先生)

「本授業では前期途中から【AutoCAD】という 2 次元の図面を作成するアプリケーション (Mac 版) を学校の PC で使いながら製図を学んで、描いていく予定です。

※ AutoCAD (Windows 版) / その他すでに個人で使用している CAD でも OK です
それほどスペックが求められる重たいアプリケーションではありません。

この授業のために新しく PC を購入して準備する必要はありません。

授業を進めていくなかで「より CAD を習得したい」「授業外でも課題を進めたい」という状況になったら、その時に PC の入手を検討してもらえたらと思います。」(山口先生)

私は自宅では Win ワークステーション (デスクトップ)、職場では Macmini (デスクトップ) を使用し、モバイルとして Macbook と ipad を併用しています。データはすべて Dropbox でリンクしローカル保存とクラウド保存をしています。ご参考まで。(本田先生)

どこでも作業できるので最初はノート PC がいいのではないのでしょうか。(多田先生)

学生の意見

「MacBook はカッコいいけど、将来的には Windows がいいって喜屋武先生が言ってたよ！」(PD1 学生)

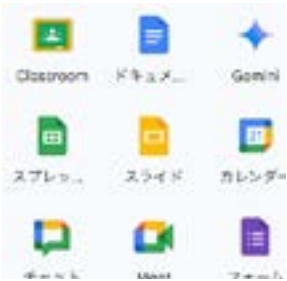
「PC 本体だけでなく、ディスプレイやマウス、ペンタブレットも使いやすいものを揃えると幸せに自宅で作業できると思います。

- ・ディスプレイ・・・激安のものを買うと色のカバー率が低めなので注意！
- ・マウス・・・トラックボール付きのものは CAD の作業をするときに手が疲れなくてオススメです。
- ・ペンタブレット・・・桑沢で貸し出されるものと同じ Wacom のものをメルカリで購入しました。(PD1 学生)

プロダクトデザイナーのためのソフトウェア特集

Google Workspace

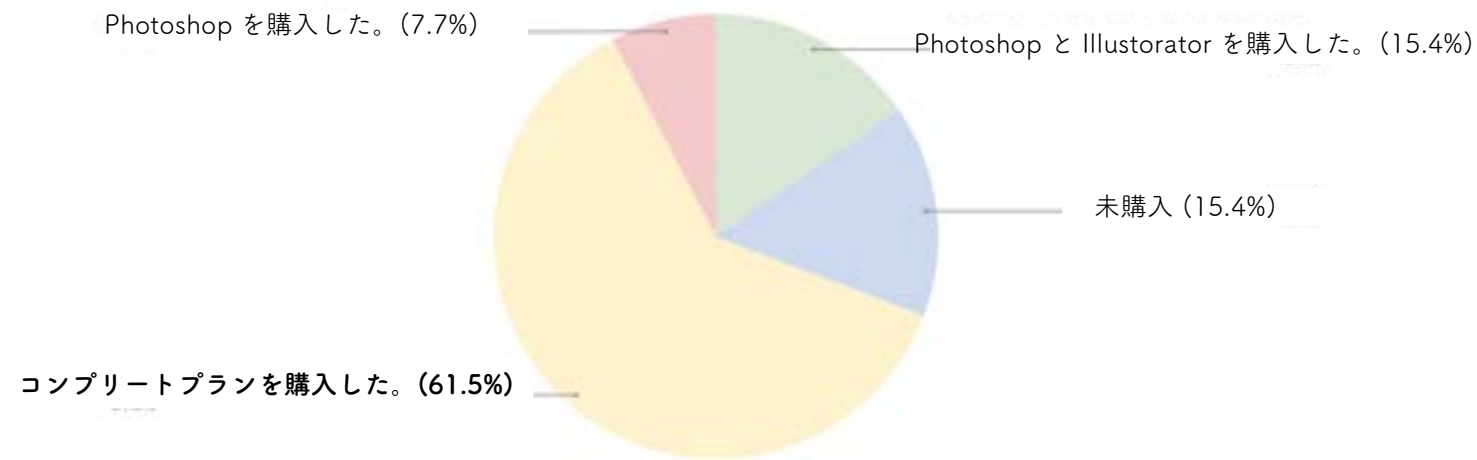
共同作業やデータの保管・共有におすすめなコラボレーションツール
Gmail や Classroom など、先生たちと連絡をとる手段として使えるだけでなく、データの保管や簡単なスライドの作成 etc とにかく多機能なので、一度利用するとハマります！



Adobe

使う授業：上級スケッチ、後期製図（ドライヤー）、ポートフォリオ
デザイナーの必需品！桑沢にいる間に使い方をマスターしよう
特に Photoshop と In design は作品ファイルやポートフォリオ作るときに大活躍します。コンピュータ室が開く講習もあるので、初めて使う人は参加してみよう！

Q. Adobe 製品を購入しましたか？ (2024 年度 PD1 へのアンケート結果)



「ポートフォリオはできれば Indesign、難しければ Illustrator がいいですね。
Photoshop では難しいと思います。私が学生のときのポートフォリオは Indesign で作成していました。なぜ Photoshop では駄目かといいますと、簡単にいうとベクターデータとビットマップデータの違いでレイアウトや文字書きが Photoshop だと結構めんどくさいためです。それだけなのでできなくはないですが。。」（多田先生）

3D CAD

使う授業 ハンドツール、ドライヤー、テープカッター
（レンダリングや出力などで使う）



Fusion 360（フュージョン）



無料で使いやすいため、最初は Fusion から始めるという人が多い。
夏期に講習も実施されるためまずはそこで触れるのがおすすめ。ダウンロードの仕方は Classroom「3D 出力工房」にも記載されている。



Rhinoceros（ライノセラス）

「プロのプロダクト（インダストリアル）デザイナーはほぼ Rhinoceros を使用しています。多分 8 割くらい。あと 2 割くらいは SOLIDWORKS が多いと思います。プロダクトデザイナーが Rhinoceros を使う理由は高度なサーフェスモデリングが可能だからです。
プロとしてプロダクトデザイナーになるのであれば Rhinoceros を学生のうちから触れておくと思いいます。Rhinoceros は学割率が結構大きいので学生のうちに購入して持っておくとその後にとても重宝します。」（多田先生）

「ほぼライノで作っているので、ライノ推しになってしまいますが…ライノの良さは「直観的に操作できて、造形の自由度がありつつ、しっかりと CAD としても使える」というところだと思います。また Grasshopper などのプラグインも多いので発展性がありそうな気がします。日用品・家電などの柔らかさも求められるデザインにはラフの検討から金型データの作成まで、十分に対応できるのではないのでしょうか。」（山口先生）

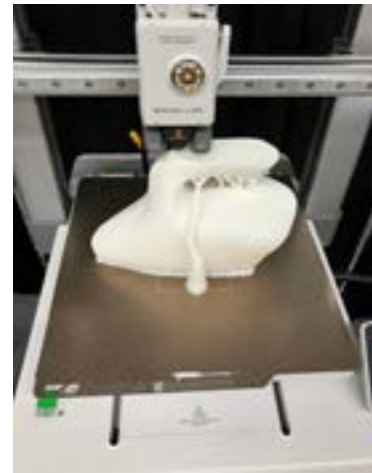
SOLIDWORKS（ソリッドワークス）

「現在の製造設計の業界標準は Fusion360 と SolidWorks だと思います。
デザイン事務所などでは Rhinoceros を使用している所も多いとは思いますが、ちなみに私は SolidWorks です（SolidWorks は WindowsOS でしか動きません）
製造現場と親和性が高いのは SolidWorks で、多くの製造業で使用されています。が、個人で購入する必要はないと思います。」（本田先生）

3D プリンタ

重要度：★★★★

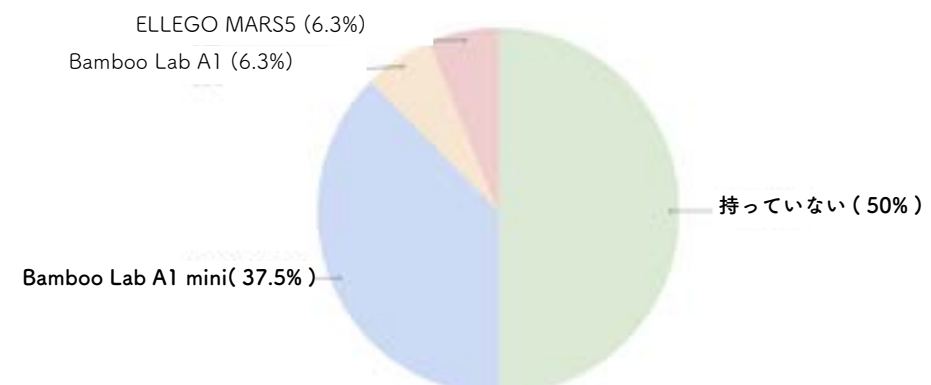
使う授業：ハンドツール、ドライヤー
テープカッター（いづれも任意）



3D モデルを出力する装置。PD1 では後期になってから使う人が爆増する。最近は安価になってきたので、購入して自宅を使う人も多い。実際 2024 年度の卒展では 3D プリンタで造形した作品が多かった。学校にも用意しており、PD の学生は予約して使用することができる。あ、故障したらちゃんと報告しましょう（先生は多分怒らないから大丈夫！）。

Q. 3D プリンタを持っている？

2024 年度 PD1 へのアンケート結果より



Bamboo 社の A1 シリーズが人気。小型で低価格。

実際使いやすく、カメラもついており造形している様子を遠隔で確認できるのも◎

学生の意見

「まだ私自身は使用したことがないが、他の学生を見ている限り、モデルやレンダリングの作成に 3D プリンター・3Dcad が使えると見栄えの良いものが作れる＋制作の幅が広がると思う。」
「手作業では時間が掛かるような造形も、数時間あれば制作できるのでより表現の幅や、スケッチでは描けても造形技術の限界で作れない、というようなことが減ると思うので、所持していても損はないです」
「3d プリンタがありかつ cad が使えればモデル製作しながら他の作業ができ生産性が高がるから。」

学校のものを使う

5 階のゼミ室奥に 5 台ある

窓際に置いてあるものは PD 学生みんな使えます。

使用希望者は Classroom「3D 出力工房」内の情報を必ず読むこと。

事前予約必須、フィラメントは自分で用意する。
初心者は先輩などと使用法を確認しながら操作しよう。昼間部2,3年と共用なので、時期によっては混むこともあるのでご利用の際は計画的に。予約が取れなかったからといって課題提出遅延の言い訳にするのは NG。



学生の意見

「学校で借りる場合、予約の手間や時間制限がされるので、それらが煩わしければ持っても良いかと思います。しかし、無くても何も問題はない」
「学校にあるし、まずは手で作り出すことを大切にしたい方がいかなあと思うから（買う必要はないかも）。でもあると夢はかなり広がります！！」

購入して自宅で使う

Bamboo

価格は 3 万円～数十万円ほどで変動

ブラックフライデーの時期に大規模セールがあるのでそれを待つのも手。一万円ほど安く買える。狙い目！

Fusion などの 3D CAD と合わせて使い方を覚えよう。

フィラメントは ELEGOO、eSUN、Bamboo

あたりが人気。

相場は大体 1,500 円～ 4,000 円ほど。



学生の意見

「買ってしまったからには作らねばならないという追い込みが大事」

「後期にはモックを作る課題が複数あります。特に、十分な製作時間を確保するのが難しい社会人には、3D プリンタの購入がおすすめです。自分専用のものがあれば、好きな時間に作り直しができ、効率的に制作を進められます。またシンプルに印刷自体が楽しいです。」

その他 PD1 学生イチオシの道具

自宅用簡易撮影スタジオ・模造紙

「学校では撮影するために予約が必要な場合があったりと少し不便だなと感じているので、あって重宝した」
「制作以外にメルカリの商品撮影などにも使える」



一眼レフカメラ

「元々景色を撮るために持っていました。桑沢にはモックアップの撮影用のスペースがあるのですが、課題提出直前期は思うように借りられないことがあるので、自前で持っているときギリギリの時に助かります（笑）。ちなみに自分は4万円ほどで中古の一眼レフを購入しました。」
「私は持ってないですが、一眼レフカメラが欲しいなあと思っています。物撮りや、使用シーンの撮影などに持っていたら便利だと思います。」



エアブラシ

個人的にはエアブラシがあって良かったと思います。理由としては自分で混色することで市販のスプレー缶にはない色味を表現でき、作品のクオリティを上げることができるからです。他にも細吹きなどスプレー缶には出来ない塗り方もできるので割とオススメです



Type C 対応の USB メモリ

「データの保存用に重宝します。持っていない場合は Google Drive に保存してしまうというのも手。 作品のデータは保存場所を決めて無くさないようにしましょう！」



スチロールカッター

「授業でスタイロフォームを切る機会が多いので、重宝します。工作室にもあり。」

スケッチブック・クロッキー帳

サムネイルスケッチやアイデアスケッチをさっと描けるのでとても便利です。
プロダクトデザインのポートフォリオは、制作過程を丁寧に説明する必要があるため自分の思考プロセスやスケッチを記録しておくことが楽です。



PD 分野おすすめの展示場所

ある程度作品が揃ってきたら、展示を企画してみるのはいかがでしょうか？
時間と手間のかかる展示は学生のうちにやっておくと良い思い出になりますよ～！
このページでは筆者が「展示やりたいです！」とギャーギャー騒ぎながら先生たちに聞いて教えていただいた展示場所候補の中でも特におすすめの展示場所を紹介します。あ、ちなみに最終的にはタダで使える「くわかべ」がいんじゃない？となり（諭されて）桑沢での展示が決定しました。

- 筆者は以下の順番でクラス展示の準備をしましたが、結構いい感じでした。 **まずは場所を確保することがポイント**です。
- ①展示 5 ヶ月前に展示場所を決めて予約
 - ②展示してくれる人を募集する（個人展示はハードルが高かった）
 - ③展示テーマを決める

くわかべ

使用料：0 円
場所：桑沢 1F
まずは Campus Net で利用方法を確認。申請書と企画書をダウンロード記入の上それぞれ 2F 事務と企画広報委員会に提出。監修として専任の先生にも協力していただく必要があるので、声がけしましょう。



DESIGN FESTA GALLERY

使用料：5,000 円～ 20,000 円（一日あたり）
場所：原宿竹下通りから徒歩 2 分ほど
原宿にあるアートギャラリーまあまあ安い。
集合住宅っぽい。（←個人的な意見）竹下通りの近くにあるのでアクセスもそこそこ良好。筆者の VD の友人もここで展示をやってました。結構お客さん来ててすごいなあと思った記憶があります。若い作家さんの展示も多く SNS 映えもします。



渋谷区文化総合センター大和田

区民学習センター＜展示ロビー＞

使用料：7,200 円 もしくは 10,800 円（一日あたり）
入学式をした場所です。渋谷区の施設なので手頃な価格で借りることができます。直前だと空かないこともあるので、早めに予約しましょう。



JIDA Design Museum in AXIS

使用料：5,000 円 もしくは 10,000 円（1 日あたり）エントリー費：5,000 円
場所：六本木
やや遠いという欠点はあるもののカッコいいスペースです。
会員は安く使用できます。本田先生は会員なので、興味を持ったらず先生に聞いて見ましょう！

